

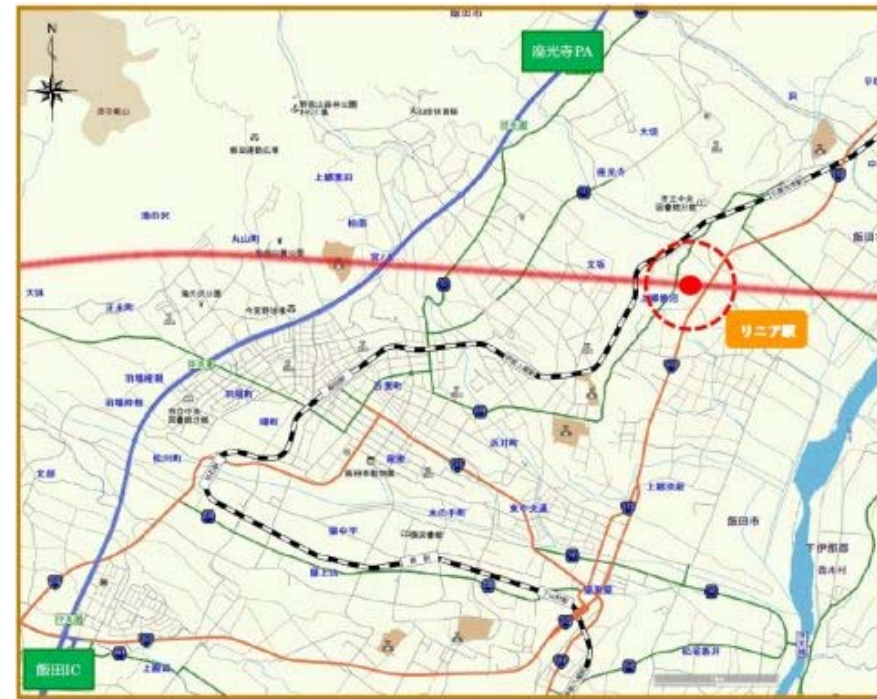
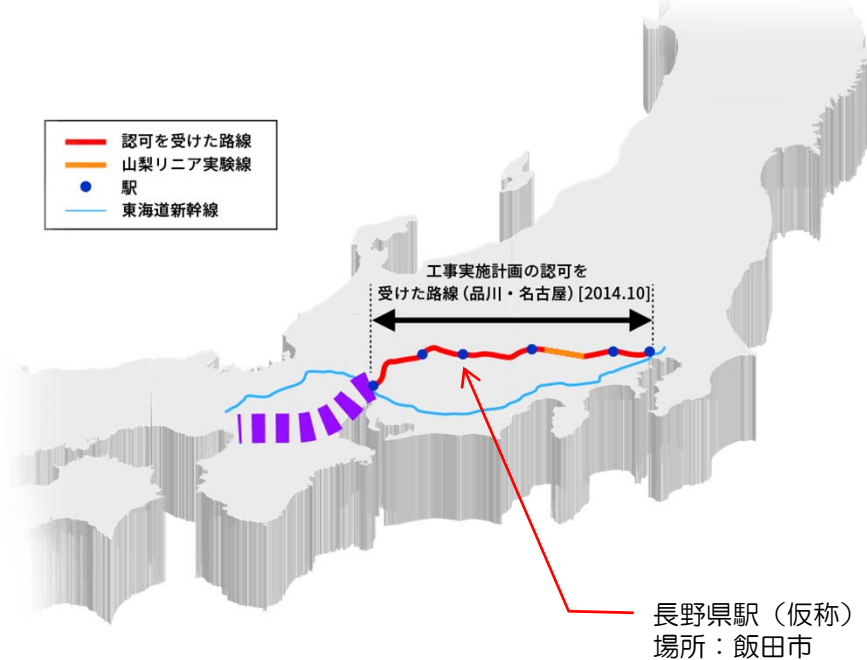
# 事業全体概要

連絡先：(株)飯田ケーブルテレビ 業務部 林  
電話：0265-52-5406 メール：hayashi@iidacable.tv

提案件名	5Gで助け合う災害に強いまちづくり	対象分野	防災・減災
------	-------------------	------	-------

- 【アピールポイント】5Gの特性を活かしたメッシュ型ネットワークを地域の全世帯で構築し、先進的なワイヤレスインフラで来るリニア時代の交通要所としてのまちづくりを行う。
- 【どのように課題の解決につながるか、もたらされる効果】飯田下伊那地域は山間地ならではの水害、土砂災害、南海トラフ地震災害などの危険性がある地域である一方、リニア中央新幹線の長野県駅ができることから交通の要所として安心して人々が暮らし、行き交うことができるまちづくりが課題とされている。5Gでメッシュ型のネットワークを構築することで、災害が発生しても孤立することなく情報収集、情報発信ができる「災害に強いまちづくり」が可能となる。交通の要所である地域で「災害に強いまちづくり」を実現することにより、地域住民の安心できる暮らし、地域経済の発展が実現し、さらにはリニア中央新幹線で結ばれる東名阪を中心とした日本経済の発展にも寄与できる。

2027年リニア中央新幹線開通  
駅が設置される街は人、物、「情報」が行き交う要所となる。



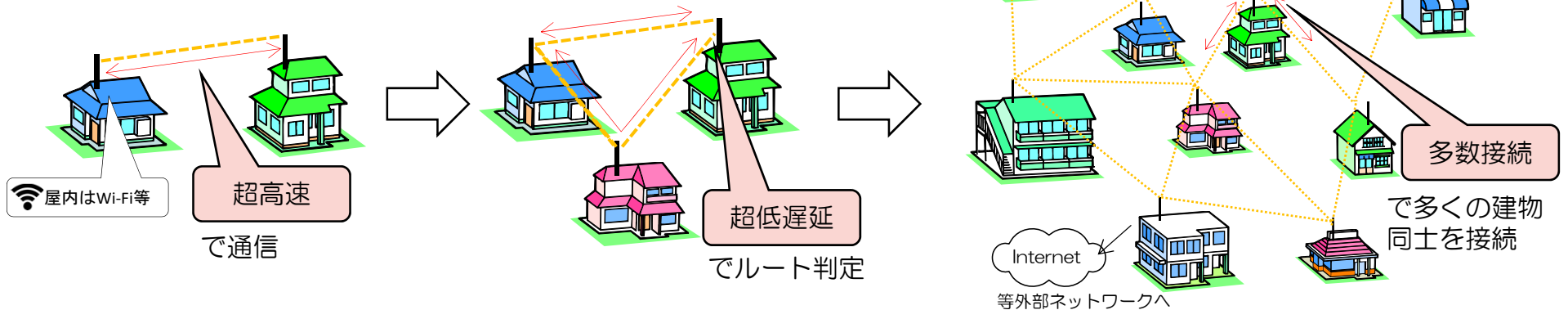
出所：リニア駅周辺整備基本構想（飯田市）

情報拠点であることから山間地特有の災害、地震に強いネットワークが重要になる。

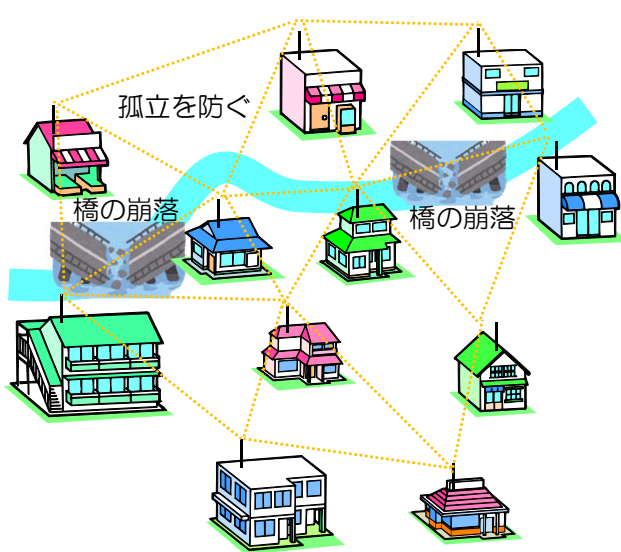
# 事業全体概要

連絡先：(株)飯田ケーブルテレビ 業務部 林  
電話：0265-52-5406 メール：hayashi@iidacable.tv

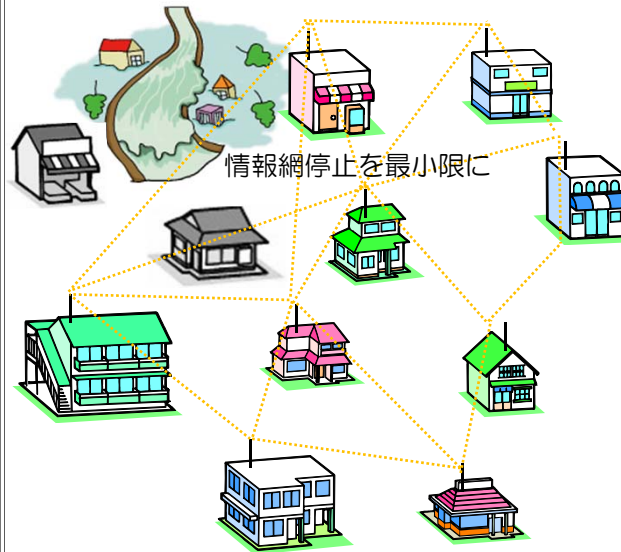
5Gの特徴を生かした、災害に強い無線を使ったメッシュ型の情報ネットワークをご提案します。これまでの光ファイバー等を使った有線ネットワークよりも災害に強く、メッシュ型にすることで一部地域が孤立したり広域で情報網が停止することを防ぐことができます。5Gで使われる周波数帯の特性（障害物の影響を受けやすく、長距離では届きにくい特性）を活かしています。また無線の活用で電柱の少ない街の景観にすることもできます。



例①河川増水による橋の崩落



例②浸水、土砂崩落



例③火災

